==========================================================================

\*\* 日本学術会議ニュース・メール　\*\*　No.516\*\*　2015/10/23

==========================================================================

++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++

◇フューチャー・アース日本会議期間中（１１月１４日～２３日）の

　シンポジウムのお知らせ（計４件）

◇日本学術会議主催学術フォーラム「防災学術連携体の設立と東日本大震災の

　総合対応の継承」の開催について（ご案内）

◇日本への国際会議誘致に関するアンケート調査（観光庁からのお知らせ）

◇第15回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞について（ご案内）

++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++

■-----------------------------------------------------------------------

　フューチャー・アース日本会議期間中（１１月１４日～２３日）の

  シンポジウムのお知らせ（計４件）

-----------------------------------------------------------------------■

(１）サイエンスアゴラ「フューチャー・アース ～持続可能な地球社会に向けて～」

地球規模の諸問題に関する様々な国際共同研究を統合し、地球の変動を包括的に理解す

るとともに、これらの研究成果を問題解決に活用し、社会転換に結びつけるための研究

を行う国際的イニシアテイブである「フューチャー・アース」。

その事務局長が来日し、フュー チャー・アースの目的や特徴についてお話し、メディア

ラボがプレゼンテーションを行います。

持続可能な開発のために、研究に何が求められているのか、どうすれば研究を社会に結び

つけることができるのか、フロア全体で議論します。

日　 時：2015年11月14日（土）13：00-17：00(受付12：30～13：00）

場　 所：日本科学未 来館　イノベーションホール

<http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

主　催：日本学術会議　フューチャーアースの推進に関する委員会

共　催：JST、総合地球環境学研究所

定　員： 80名

言　語： 英語（同時通訳あり）

参加費：無料

セッションの詳細については下記をご覧ください。

<http://www.chikyu.ac.jp/future_earth/events/events_20151114.pdf>

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/program/booth/ab_101/>

参加申し込みは下記まで、お名前、ご所属、メールアドレスをご連絡ください。

（11月10日（火）〆切）

総合地球環境学研究所　Future Earth推進室

 tel: 075-707-2403

 e-mail: FutureEarth＠[chikyu.ac.jp](http://chikyu.ac.jp/)

（２）生命を育む地球環境の変動予測と適応─我が国におけるIGBP25年間の歩み

我が国におけるIGBP (地球圏－生物圏国際協同研究計画)、

及び傘下の８つのコア・プロジェクトに関する研究活動を総括し、

フューチャー・アースを含め、将来へのさらなる発展を目指した議論を行うための

公開シンポジウムを開催いたします。

日　時： 2015年11月15日（日）9:00-12:00 ※開場8:30

場　所： 政策研究大学院大学 （東京都港区六本木7-22-1）1階　会議室1A・1B

<http://www.grips.ac.jp/about/access/>

主　催： 日本学術会議 環境学委員会

          ・地球惑星科学委員会合同IGBP・WCRP・DIVERSITAS（IWD）合同分科会

共　催： 日本学術会議 フューチャー・アースの推進に関する委員会

後　援： 日本地球惑星科学連合

定　員： 100名

言　語： 日本語

参加費： 無料

プログラム等の詳細は下記ＨＰに記載しております。

また、事前参加登録につきましても下記ＨＰにて受け付けております。

<http://mits10.aori.u-tokyo.ac.jp/kokusai/igbp2015/>

お問い合わせ先：

植松光夫教授（日本学術会議特任連携会員）

東京大学大気海洋研究所

電子メール： [uematsu@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:uematsu@aori.u-tokyo.ac.jp)

（３）持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2015

今年度は「フューチャー・アース」をテーマとして、国内外の研究者・メディア関係者に

よる、基調講演・パネルディスカッションを行う予定です。

日　時： 2015年11月15日（日）13:30-18:00 ※開場12:45

場　所：日本学術会議講堂

主　催：日本学術会議

       （協力委員会：フューチャー・アースの推進に関する委員会、環境学委員会）

共　催： Future Earth、東京大学サスティナビリティ学連携研究機構、

        総合地球環境学研究所、国際連合大学（予定）、国立環境研究所（予定）

定　員： 200名

言　語： 日本語・英語（同時通訳あり）

参加費：無料

プログラム等の詳細は下記ＨＰに記載しております。

また、事前参加登録につきましても下記ＨＰにて受け付けております。

<http://www.pco-prime.com/Science_and_Technology_for_Sustainability2015/index.html>

お問い合わせ先：

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2015　事務局

Tel: 03-6277-0095

E-mail: [Science\_and\_Technology\_for\_Sustainability2015@pco-prime.com](mailto:Science_and_Technology_for_Sustainability2015@pco-prime.com)

（４）フューチャー・アース　- 新たな国際プラットフォームで社会と科学をつなぐ

International Symposium on Sustainability Science

Future Earth - a new platform promoting science for society

今年度は「フューチャー・アース」をテーマとして、

国内外の研究者、また企業からも参加をいただき、各種講演・パネルディスカッションや、

双方対話式のセッションなども行う予定です。

日　時： 2015年11月21日（土）9:30-16:00（開場　9:00）

場　所： 東京大学　本郷キャンパス内　安田講堂

主　催：一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)

共　催：東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)、Future Earth、

            国際連合大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）、

            東京大学大学院新領域創成科学研究科サステイナビリティ学グローバル

            リーダー養成大学院プログラム（GPSS-GLI）、持続可能な開発ソリュー

            ション・ネットワーク・ジャパン（SDSN Japan））

定　員： 900名

言　語： 日本語・英語（同時通訳あり）

参加費： 無料

プログラム等の詳細は下記ＨＰに記載しております。

また、事前参加登録につきましても下記ＨＰにて受け付けております。

<http://www.pco-prime.com/2015isssfe/>

お問い合わせ先

「SSC シンポジウム」事務局

株式会社プライムインターナショナル内

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-10-601

E-mail: [2015isssfe\_secretariat@pco-prime.com](mailto:2015isssfe_secretariat@pco-prime.com)

Tel:03-6277-0117　Fax:03-6277-0118

■-----------------------------------------------------------------------

　日本学術会議主催学術フォーラム「防災学術連携体の設立と東日本大震災の

　総合対応の継承」の開催について（ご案内）

-----------------------------------------------------------------------■

・日時　平成28年1月9日（土）13:00～17:30

・場所　日本学術会議講堂

・開催趣旨

　　日本の防災・減災に関わる30の学会の代表が集まり、日本学術会議と連携し、

　東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、本質的な議論を

　展開する連続シンポジウム「巨大災害から生命と国土を護る-30学会からの

　発信」を行ってきた。理学・工学の関連分野に加え、社会経済や医学を含めた

　幅広い分野の研究者が、分野の壁を越えて議論し、2012年5月に政府に向けた

　共同声明、2014年11月に国際社会に向けた共同声明と30学会の取組み紹介の

　冊子を発出するなど、様々な成果をあげてきた。その最終回（11回）として、

　学術フォーラムを開催し、東日本大震災後の約５年間を振り返り、大震災から

　得られた教訓とその継承について議論する。

　　このフォーラムをもって「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」

　は終了するが、後継組織として「防災学術連携体」（Japan Academic Network

　for Disaster Reduction）を設立し、防災・減災の全般を対象に、より広い

　分野の研究者の参画を得ながら、今後の大災害等の緊急事態にも対応できる

　継続性のある学会ネットワークを育てていく。

　　日本学術会議は平成26年2月に「緊急事態における日本学術会議の活動に関する

　指針」を制定し、平成27年7月に「防災減災・災害復興に関する学術連携委員会」

　を設置した。防災学術連携体はこの委員会と密接に連携して活動する。

　　本フォーラムでは、防災学術連携体に期待される役割についても議論する。

　　詳細は「防災学術連携体」のホームページ [http://janet-dr.com](http://janet-dr.com/) をご覧下さい。

・次　第

　13:00　挨拶・趣旨説明

　　司　会：目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

　　挨　拶：大西　隆（日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長）

　　挨　拶：加藤久喜（内閣府防災担当政策統括官）

　13:15　学協会連絡会のこれまでの活動と成果について

　　依田照彦（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員長、早稲田大学教授）

　13：30　学会連携の取組み事例の発表

　　集団災害医学会20周年総会　学協会連絡会との連携PD

　　東日本大震災合同調査報告「原子力編」刊行記念　合同報告会

　　　　代表発表：川島一彦（東京工業大学名誉教授）

　　地球惑星科学委員会と土木工学・建築学委員会との連携

　　　「地質地盤情報の整備・活用と法整備」シンポジウム

　13:45　ディスカッション１「東日本大震災復興の課題と今後の方向」

　　テーマ(1)「震災・復興に役立った知見、役立たなかった知見、役立てたかった

　　　　　　　知見」

　　テーマ(2)「どのような体制があれば良かったか、震災の現場ではどのような

　　　　　　　研究が望まれていたか、学会連携に期待することは何か」

　　パネリスト：東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会/各学会代表15名

　　　　　　　　吉野　博（日本学術会議会員、東北大学教授）、

　　　　　　　　浅見泰司（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

　　コーディネータ：米田雅子（日本学術会議連携会員、慶応義塾大学特任教授）

　15:00-15:15　休憩

　15:15　ディスカッション２「東日本大震災に学んだ防災・減災と今後の方向」

　　テーマ(1)「防災・減災に役立った知見、役立たなかった知見、役立てたかった

　　　　　　　知見」

　　テーマ(2)「どのような体制があれば良かったか、研究成果に社会を動かす

　　　　　　　説得力があったか、学会連携に期待することは何か」

　　パネリスト：東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会/各学会代表15名

　　　　　　　　小松利光（日本学術会議会員、九州大学教授）、

　　　　　　　　小池俊雄（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

　　コーディネータ：米田雅子（前掲）

　16:30　「防災学術連携体」設立の報告

　　　　　　　　和田　章（日本学術会議会員、東京工業大学名誉教授）

　16:45　新規参加学会の取組み発表

　17:25　閉会挨拶　田村和夫（日本学術会議連携会員、千葉工業大学教授）

（参加費　無料）

定　　員：先着３４０名

お申込み：下記サイトの申込フォームよりお申込ください。

[http://janet-dr.com](http://janet-dr.com/)

　　　　　定員になり次第締め切らせて頂きますので、御了承ください。

インターネットで実況中継 (Ustream)：

　　　　　当日、ホームページ [http://janet-dr.com](http://janet-dr.com/)を御覧ください。

■---------------------------------------------------------------------------

　日本への国際会議誘致に関するアンケート調査

　（観光庁からのお知らせ）

---------------------------------------------------------------------------■

　観光庁では、国際会議の誘致・開催の国際競争力強化を検討するうえで、大学関

係者の方々や研究者の皆様のニーズ把握のためのアンケート調査を、今回行わせて

いただきたいと思っております。

　本アンケートは、日本における国際会議の誘致力向上に向けた施策の参考とする

ことを目的に実施いたします。

　学術振興のため、ぜひ御協力をお願いいたします。

　ご回答は下記のURLからお願いいたします。

<https://truenavi.net/enq/convention.html>

　回答受付期間：2015年10月23日～11月8日

　本調査は、観光庁より委託を受けた下記の機関が事務処理を実施しています。

　本調査の内容及びご回答方法等についての疑問点、ご質問等がございましたら、

下記担当者までお問い合わせください。

（株）野村総合研究所　社会システムコンサルティング部　八亀、溝口、岡村

　　TEL: 03-5533-2203、FAX: 03-5533-2900

■-------------------------------------------------------------------------

　第15回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞について（ご案内）

-------------------------------------------------------------------------■

第15回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞について、推薦依頼がありまし

たためお知らせいたします。会員・連携会員の皆様がご推薦できる賞ですので、同

賞にふさわしいと考えられる研究者がいらっしゃいましたら、ご推薦をお願いしま

す。推薦要領につきましては、以下のホームページでご確認ください。

○グリーン・サステイナブル ケミストリー賞：人と環境にやさしく、持続可能な

社会の発展を支える化学及び化学技術であるグリーン・サステイナブル ケミスト

リーの推進に貢献した業績を顕彰する賞です。

〆切は平成27年（2015年）12月8日（火）。

<http://www.jaci.or.jp/gscn/page_03.html>

★-----------------------------------------------------------------------☆

　日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

　　　　　　　　　 アカウントは、@scj\_info　です。

　　　　　　　 日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

<http://twitter.com/scj_info>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　　　　　 学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

===========================================================================

　日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転

載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけ

るようにお取り計らいください。

　本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらか

じめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記

載がありますので、そちらからお願いいたします。

===========================================================================

　　発行：日本学術会議事務局　<http://www.scj.go.jp/>

　　　　 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34